

今日のキーワード 「リオ五輪」まで203日、準備は順調？（ブラジル）

今年8月5日から21日まで17日間にわたり、リオデジャネイロでオリンピック（「リオ五輪」）が開催されます。これに合わせ、インフラ整備など27の公共投資が計画されています。市、州、政府が事業を分担し、総予算は246億レアル（約7,210億円）です。なかでも競技会場への交通網整備が目玉とされ、地下鉄路線の延伸、都市鉄道システム（LTV）や高速バスシステムの建設が、競技施設などと同時に進められています。

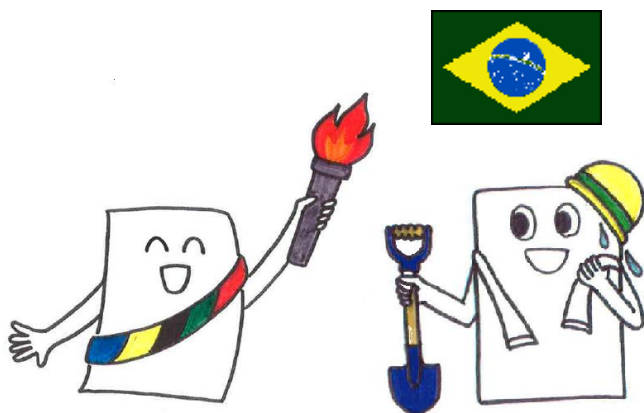
ポイント1 交通網の整備に遅れ

財政収支の悪化や物価高などから、資金難に直面

- 昨年7月、地下鉄工事について、州の監査でオリンピック開幕までの完成が難しいと指摘されました。12月には市当局から、政府からの資金拠出が滞っていることや物価の上昇などにより資金難に陥っており、工事への影響が懸念されるとの発言がありました。また、LTVの建設も、遅れが目立つとの報道が見られます。
- 「リオ五輪」が決定された2009年当時、ブラジル景気は好調でしたが、その後低迷、税収不足から財政収支が悪化しています。補助金の削減を理由とした電気料金など公共料金の値上げは、物価高につながっています。こうした厳しい経済・財政事情から、「リオ五輪」の準備の遅れが懸念されています。

ポイント2 競技施設の建設は進む 一部には遅れ

- 昨年12月、スポーツ庁の鈴木長官がリオデジャネイロを訪問し、競技会場などを視察しました。ホッケー会場はメインスタンドの建設が未着手、ラグビー会場は更地のままだったとのことであり、一部で建設の遅れが目についた模様です。
- ただし、選手村は8割ほど完成しているとのことでした。また、現地の報道では競技施設は85%が完成済みとのことであり、概ね大会の実施には支障がなさそうです。



今後の展開 費用の節約、2月のカーニバル後の作業加速に期待

■ 開催費用を節約し、準備を続行

現地の報道によると、資金難から選手村の個室へのエアコン設置が見送られる模様です。その他にも、設備や大会セレモニーの簡素化、プレ競技の縮小など本大会の開催に向けた費用の節約が伝えられています。

■ 2月のカーニバル以降に作業加速との観測

現地では、2月のカーニバルが終われば、ブラジル人は取り組みを本格化させるといった、楽観的な記事が見られます。交通網整備の加速など「リオ五輪」の準備が進めば景気にもプラスになると期待されます。

ここも チェック！

2015年12月21日 2016年のブラジル経済の見通し
2015年12月14日 財政再建目指す「2016年予算案」（ブラジル）

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。